

# とざわけんきまる祭

「ロシアルーレットたこ焼きづくり」

「おかしなパンケーキづくり」

郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業

最上教育事務所

実施を希望する市町村公民館において実施する「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域の良さを体感できるプログラム」を創設・実施することで、参加した小学生が、中学生になり事業を企画・実施していく地域に学び、地域に貢献する循環をつくる。

最上教育事務所

社会教育主事が郷土愛醸成のプログラム企画をサポート



実施する市町村の  
公民館職員等

「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域の良さを体感できるプログラム」の実施  
 ①プログラム企画・立案の研修会への参加（5月）  
 ②当該公民館の地域資源の発見・整理・準備（5月）  
 ③地域の中学生を募集し、中学生による企画・実施の準備（地域団体等の協力も得る）（6月）  
 ④参加小学生を募集（7月）し、事業の実施（8月～）

※社会教育主事は、開催市町村主事と地域資源の現地調査、研修会準備等を開催市町村に出向いて実施します。

企画立案力の向上を目指す

・公民館等における郷土愛育成プログラムの全県展開  
 ・参加小学生が、中学生になって参画する好循環創出



- 「郷土愛」を持った若者の育成
- 「自分の地域が好き」という思いの醸成
- 「自分の地域に何かしたい」という思い

中学生



「小学生向けの地域学習活動」の企画と運営  
 ①地域資源の現地調査（6月）  
 ②調査をもとに、プログラムを企画（7月）  
 ③小学生募集のための広報活動（7月）  
 ④主体となり事象の実施（8月～）

自分たちで企画したことに楽しく参加してくれて、嬉しい。地域のために何かやってみたい。

豊かな自然

人とのつながり

多様な文化

将来の参画者に

地域探究学講座

参加して楽しかった。また、来年も参加したい。

将来自分もあんな中学生のようになりたい。

自分が住んでいるところには、こんな良さがあるんだね。

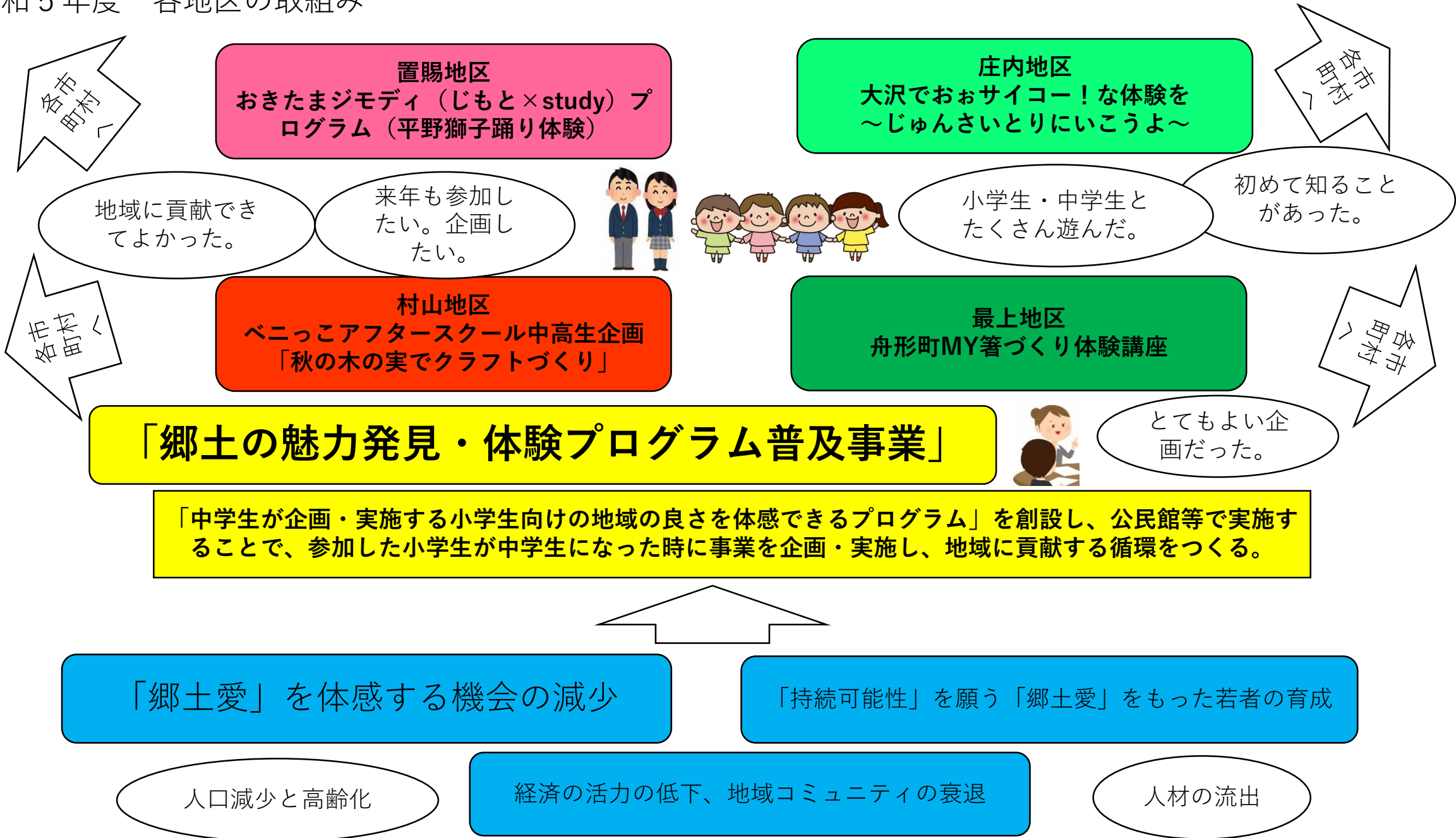
小学生



「小学生向けの地域学習活動」への参加

めざす子ども像

地域学習に取り組むことで、地域への愛着と、中学生へのあこがれを持ち、地域活動に参加しようとする意欲を高める



# 戸沢村・戸沢学園への説明・打合せ

①戸沢学園への事業説明：令和6年4月25日（木）

- ・5月13日（月）に中学生へのちらし配付



9年生6名から参加の希望があった。

②戸沢村民フォーラムでの実施を確認

- ・5月8日（水）の村民会議の中で実施を了承していただいた。

# 中学生との打ち合わせ①

7月9日（火）

参加者：中学生6名

戸沢村教育委員会職員2名

最上教育事務所 1 名

場所：戸沢学園

内容：生徒の自己紹介

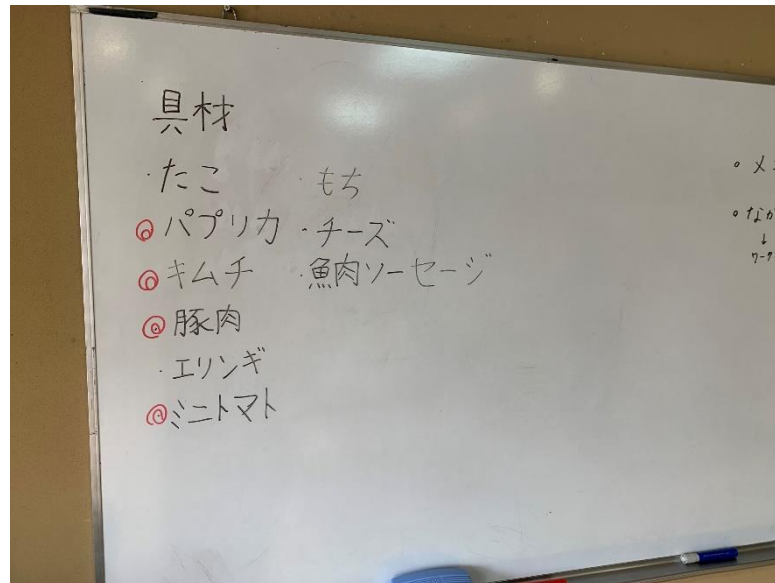
事業説明

実施内容の検討。

- ・男子3名、女子3名のグループに分かれて実施し、  
男子グループは、具材を工夫したたこ焼きづくりに決定。  
女子グループは、後日決定となった。

# 試食会① 9月7日 (土)

- ・ たこ焼きチームの試作を実施。
- ・ 具材はタコ、ソーセージなど基本的なものに、パプリカやキムチ、トマト、戸沢豚など戸沢村にちなんだものを候補とした。
- ・ 焼く練習と味見から始めて、役割分担や当日のロールプレイングまで行った。



・ 楽しめるようにロシアンルーレットみたいになりたい。

・ 自分たちで食べるために作るのではなく、子どもと一緒に作るワークショップだから、接客なども考えなければならなくて難しい。

・ ミニトマトとか、意外と合うものがあったりして面白い。

# 試食会② 9月18日 (水)

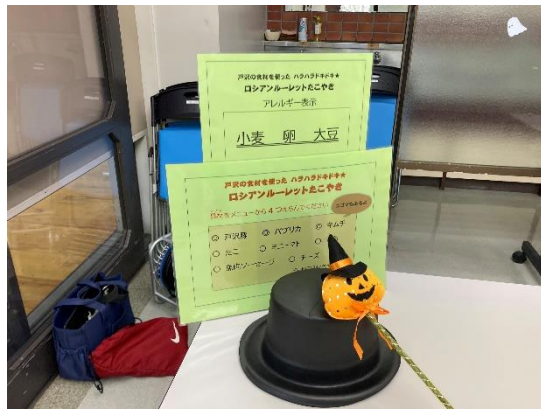
- ・パンケーキチームの試作を実施。
- ・戸沢産のさつまいもで作るクリームを試行錯誤して作った。
- ・当日子ども達を迎える時、どういうやり方だとより安全に無理なく焼けるか実験してみた。



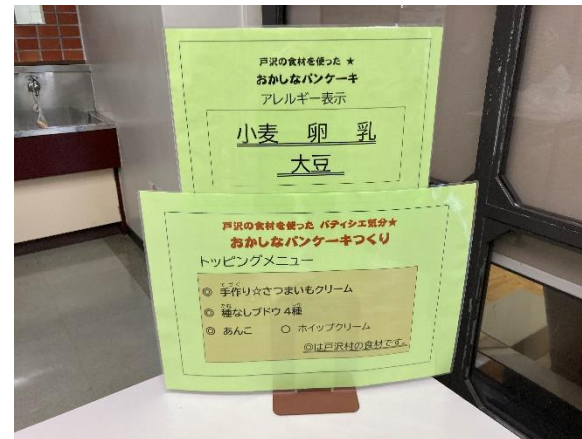
- ・いろんな形にできたらかわいくて楽しい。
- ・パンケーキはすぐできるから、好みでトッピングも参加者にしてもらおう。
- ・戸沢村でこんなおいしいぶどうを作っていることを始めて知った。

# とざわげんきまる祭 10月6日（日）

ロシアンルーレットたこ焼きづくり



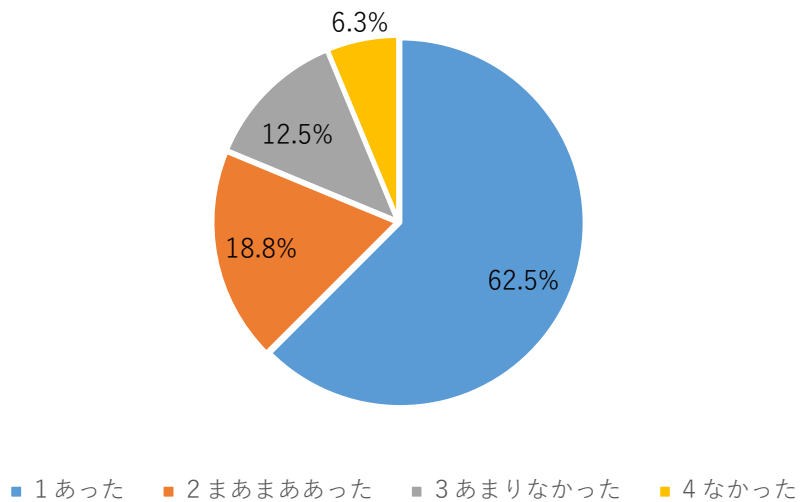
おかしなパンケーキづくり



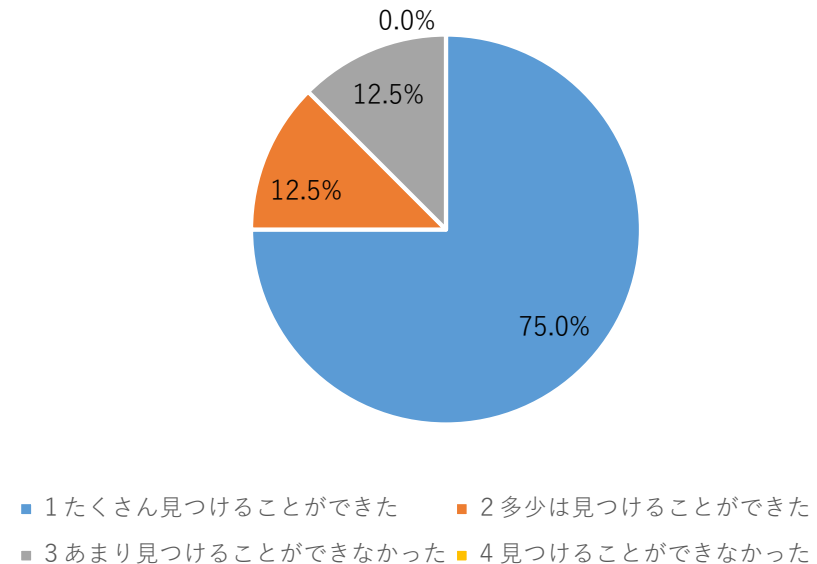
# 参加した小学生のアンケートから

活動の感想…楽しかった 100%

初めて知ったことや気づき、発見などありましたか。

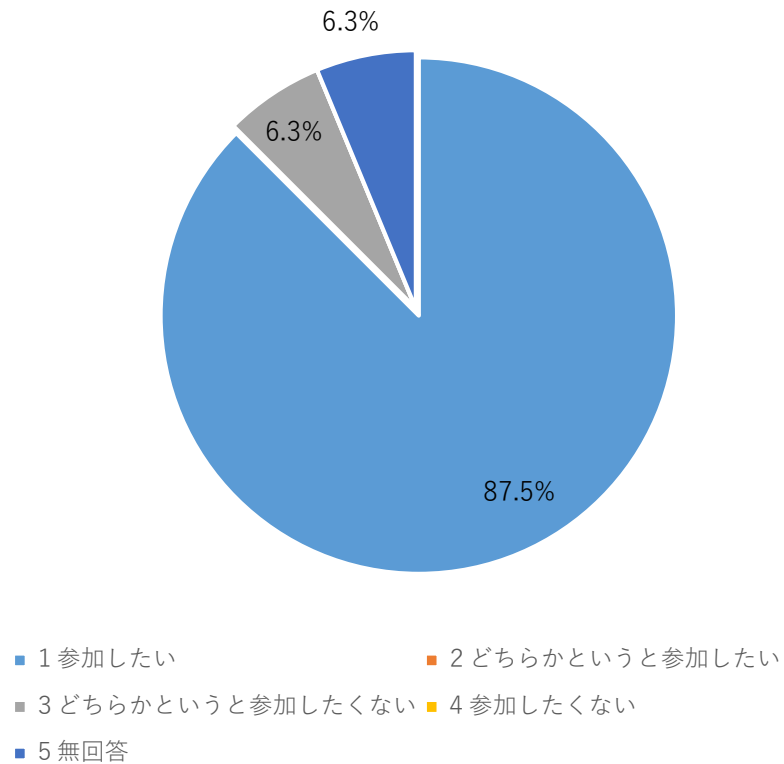


よいところを見つけることができましたか。

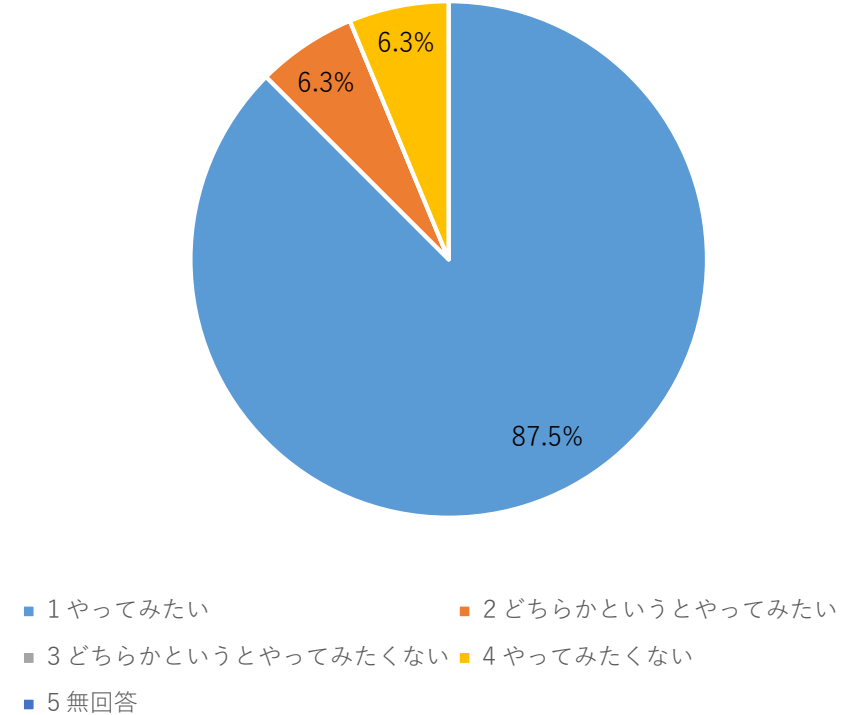


# 参加した小学生のアンケートから

来年も参加したいか



中学生になって



# 参加した小学生のアンケートから

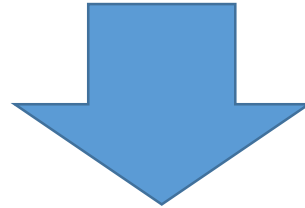
- 「戸沢村のよいところ」があれば教えてください。  
→戸沢村の人たちが協力し合っていること。  
人が優しい。  
おいしい食べ物がたくさんある。  
自然が豊か。景色が良い。

# 小学生のアンケートまとめ

- 参加して楽しかったという回答が100%。来年も参加したいという回答は88%
- 中学生になって自分が企画したいという回答が94%
- 初めて知った事、発見があったという回答が83%

## めざす子ども像

地域学習に取り組むことで、地域への愛着と、中学生へのあこがれを持ち、地域活動に参加しようとする意欲を高める



自分が住んでいるところの良さを感じることができた。また、中学生の企画に楽しく参加し、来年度も参加したい。または、中学生になったら自分もやってみたいという気持ちをもたせることができた。

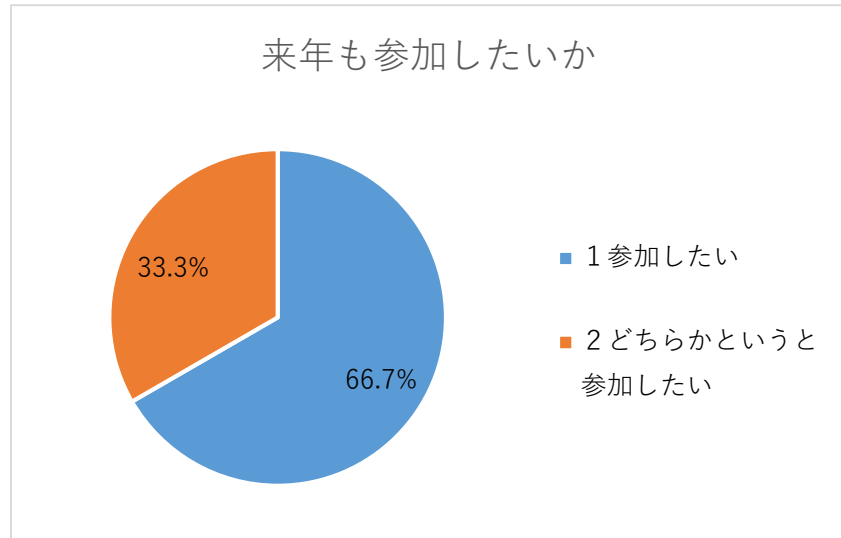
# 参画した中学生のアンケートから

○活動の感想・・・楽しかった100%

○初めて知ったこと、発見など・・・あった100%

○良いところを見つけることができたか・・・できた100%

○地域の良さ、新たな発見・・・あった100%



○戸沢村の良いところ

- ・フルーツや食べ物がおいしい。
- ・戸沢産のものがたくさんある。

# 参画した中学生のアンケートから

- 小学生ともうまく関わって楽しかった。たこやきがおいしかった。またやりたいです。
- やってみるとすごく楽しくて、良い体験ができたと思います。またこのような機会があれば、やってみたい。
- 戸沢村にはおいしい食材やフルーツがたくさんあることが分かった。

# 中学生のアンケートまとめ

- ほとんどの質問項目が（「楽しかった。」・「発見があった」・「参加したい。」）100%楽しかった、発見があった。
- 活動をして、満足したという意見が多かった。

## めざす子ども像

地域について体験的に学び、理解を深め、小学生を対象とした地域学習活動を実施することで、地域に貢献できたという自己有用感を高める



地域でつくられている農産物や果物について理解が広がった。  
小学生やとざわけんきまる祭りに来場した村民の方と関わることで、自分たちの企画を通し、上手に関わることもできたという感想を持った。

# 戸沢村職員のアナケートから

- 学校の協力もあり、参加する生徒が決まってからは、本人たちのやりたいことを聞き、形にしていくことができた。
- 中学生の募集が一番大変。自主的な中学生の参加は難しい。
  - 学校との協力体制の確立が課題。
  - 自主性を育てるためにも、一緒に活動することが大切。

# 全体のまとめ（成果と課題、今後に向けて）

○戸沢村からの協力を得ながら事業を実施することができた。参加した中学生も小学生も、楽しかった、またやりたい、自分が実施してみたいという感想を持ち、地域への貢献度が高まった。

△参加者を集めることが大変。中学校に募集して頂くには学校への説明等が必要で、協力体制構築まで時間がかかる。



◎最上地区のボランティアサークルを中心として、高校生と中学生が企画し、だがしや楽校のような形で実施するという方法が地区として実施しやすいと考える。